

1年をふりかえって

看護学科第46期生 澤田 ゆうか

私は昨年の4月に、准看護師の資格を取得後、看護師を目指して本校に進学しました。入学当初は、新しい環境に緊張しながらも「看護師になりたい」という強い気持ちを胸に、期待と不安が入り混じったスタートでした。

進学後は、准看護師として病院で働き始め、仕事と学業の両立に不安を感じる日々で、体力的にも精神的にも余裕がなく、思うように勉強が進まないときもありました。しかし、少しずつ生活リズムをつかみ、計画的にスケジュールを立て、限られた時間の中で何を優先すべきかを常に考えながら、効率よく学習を進めることができ、今では前向きに取り組めるようになりました。

また、クラスメイトとの関わりの中で、支えあうことの大切さを実感しています。入学当初は、緊張していたクラスの雰囲気も、日々の授業や演習を通して、少しずつ距離が縮まり、今では分からないことを教え合い、励まし合える仲間になりました。忙しい毎日ですが、みんなで協力しながら乗り越えることで、達成感や充実感を感じています。そして、勉強や学校生活で分からないことがあれば、先生方がいつも親身になって教えてくださり、安心して学習に取り組むことができます。

2年生となり、今より専門的な学習や実習が本格的に始まります。現在、臨床看護総論Ⅰでは患者さんをより深く理解できるように、ゴードンの機能的健康パターンを用いたアセスメントに一生懸命取り組んでいます。また、基礎看護技術では演習が始まり、手順書通りに行っても改善が必要な点が多くあることに気づき、日々学ぶことの大切さを実感しています。これからの実習や看護に活かせるように、学びを大切にしていきたいと思います。そして、初心を忘れず、仲間と共に成長しながら、患者さんの力になれる看護師を目指して、これからも努力を重ねていきたいです。

